

ピンチをチャンスとして Win-Winの関係で 地方創生に取り組む

地方創生
委員会

委員長
山下 良則
東 和浩

新型コロナウイルスで課題や矛盾が浮き彫りになった。地方にとっても好機が訪れており、東京一極集中の是正など、地方創生の取り組みを加速することが重要だ。地方創生委員会では地方自治体と企業が共に取り組むべき項目を、協働メニューとして取りまとめた。山下良則、東和浩両委員長に聞いた。（インタビューは10月20日に実施）



山下 良則 委員長
リコー 取締役社長執行役員CEO

1957年兵庫県生まれ。80年広島大学工学部卒業後、リコー入社。2004年画像生産事業本部生産統括センター所長、08年Ricoh Electronics, Inc. (U.S.A.) 社長、10年グループ執行役員、11年常務執行役員、12年取締役専務執行役員、16年取締役副社長執行役員を経て、17年より現職。2012年7月経済同友会入会。16年度より幹事。18年度より地方創生委員会委員長。

「地方が東京を助ける」という 新たな視点でも地方創生を考える

山下 今回の報告書に関しては4月まで「支援メニュー」として準備をしていましたが、新型コロナにより「協働メニュー」にしました。それまでは「東京が地方を助ける」という視点が主でしたが、三密状態な東京で新型コロナが感染拡大したことを踏まえて「地方が東京を助ける」という新たな視点で地方創生を考えていく必要があったからです。

東 「協働」とは、東京の企業と地方が同じ目線で地方創生を行っていくということ、「メニュー」は具体的な提案です。大企業は機能を一極に集中させるべきではないという議論は昔からありましたが、コロナ禍により東京の大企業は大慌てで地方への分散化を考えざるを得ない状況になっています。

山下 協働メニューの取りまとめにあたっては、自治体の施策や企業への要望などを把握するため、リーダーシップを発揮して地方創生を推進している自治体の首長にヒアリングを実施、ま

た地方創生WGで訪問した地方自治体へアンケート調査も行いました。そこから分かったのは、まず地方は企業の誘致ではなく、人や情報の誘致に戦略をシフトしようとしていることです。

東 今回、Webを利用したリモートワークが多くの企業で行われて、本社は東京など大都市に置いたままでも、仕事ができることが実証されました。会社を移さなくても、地方で仕事をするということが分かったのは、重要なポイントだったと思います。ただし、サテライトオフィスやワーケーションの候補地として選ばれる自治体になるために、戦略の差別化や強みの明確化ができていない地域は多くはありません。

協働メニューは七つの柱を提示 “Do Tank”として成果にこだわる

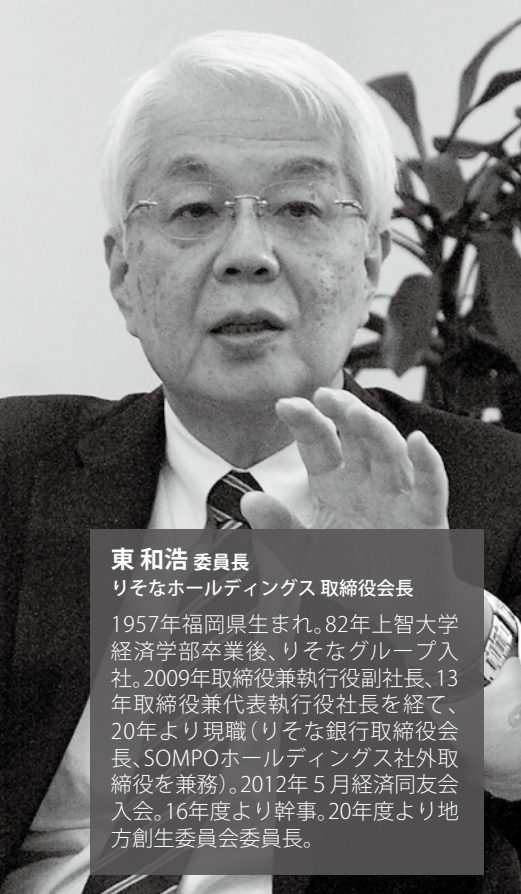
東 アンケートでは、デジタル化のノウハウやデジタル人材のマッチングが多く求められていることも分かりました。デジタル化といわれても何を、どこから手を付けていいのかわからない、という自治体もある中で、具体的に先

導する熱意のある首長がいる場合、課題もクリアになり、企業側も「こういうことが実施できる」と具体的な提案が可能となります。協働メニューは七つの柱を提示しましたが、自治体側も課題を洗い出しやすくなると期待しています。成功事例がロールモデルになり、さらに細分化されたメニューになってもいいと考えます。

山下 委員会にはワーキンググループがあり、実働グループとして先の自治体の環境づくりや企業側の条件提示を始めています。全国の経済同友会を通して情報をシェアしていき、実効力のあるプロジェクトにしたいと考えます。また、関わる人たちが達成感を持ち続けていくためにも、協働後、半年ないし1年後に自治体に成果をフィードバックしてもらうことも必要かと考えます。“Do Tank”として、動くだけでなく成果にこだわっていきます。

「企業から自治体への提案書」として 協働を新たなビジネスチャンスに

東 コロナ禍で人々のライフスタイルや働き方が大きく変わる中、コロナ前



東和浩 委員長

りそなホールディングス 取締役会長

1957年福岡県生まれ。82年上智大学経済学部卒業後、りそなグループ入社。2009年取締役兼執行役員副社長、13年取締役兼代表執行役員社長を経て、20年より現職（りそな銀行取締役会長、SOMPOホールディングス社外取締役を兼務）。2012年5月経済同友会入会。16年度より幹事。20年度より地方創生委員会委員長。

の状態に戻そうとするのではなく、このピンチをチャンスと捉えて、地方創生の推進に向けた取り組みを加速していくことが重要です。ビジネスインフラの分散化といっても、企業もどこに、どう分散するのか難しい問題です。会員の皆さんにとって、このプロジェクトは、地方に注目する良い機会になると思います。

山下 従来の企業の地方創生は、自治体からの依頼を受けたお手伝いという側面が強かったと思います。東京一極集中の是正や地域経済の活性化は待たなしの状況なので、企業から自治体へ協働を積極的に働き掛けることを意図したものが本報告書です。報告書というより「企業から自治体への提案書」といってもよいものです。本会では、2017年から高知県との協働プロジェクトを推進しているように、意欲ある自治体とお互いにWin-Winの関係で一緒に地方創生に取り組みます。地方との協働は、企業にとっても新たなビジネスチャンスになるはずです。積極的なご参画をお願いいたします。

報告書概要(10月8日発表)

地方創生のさらなる推進に向けて ～地方自治体と企業との協働メニュー～

経済同友会では、高知県および土佐経済同友会と協働プロジェクトに関する協定を締結するなど、地方自治体や各地経済同友会と連携し、地方創生に向けた具体的な取り組みを推進している。今回、活動をさらに前進させるべく、新型コロナウイルスの感染拡大で地域

が直面している課題や都市部企業への要望などについての調査を踏まえ、地方自治体と本会、本会会員・所属企業が一緒に取り組むべき項目をまとめた。本報告書に基づいて、地方自治体に協働を呼び掛け、地方創生に向けて実効性ある活動を展開していく。

基本的考え方

1. 地方自治体と経済同友会、本会会員・所属企業とが協働し、人口減少などに伴う社会課題の解決を通じ、地方創生を推進する。
2. 地方自治体は、首長がリーダーシップを発揮し、協働プロジェクトへ人材や予算を適正に配分する。
3. 本会会員およびその所属企業は、地域を巡る本質的な課題に対する取り組みを講じ、成果に対して積極的にコミットする。
4. 本会は、各地の経済同友会と連携し、地方自治体や地域企業と本会会員・所属企業の間をつなぐプラットフォームとしての役割を担う。

企業として取り組むこと(協働メニュー)

- ① **リモートワークの推進による地方への人や仕事の分散**
 - ・リモートワークを推進する地方自治体との意見交換
 - ・サテライトオフィスやワーケーションの実証実験への参画
 - ・リモートワークを支えるデジタル製品やサービス、活用ノウハウの提供
 - ・リモートワークに即した法制度や就業規則に関する調査・研究
- ② **地方自治体や地域企業への技術や人材による支援**
 - ・デジタルガバメントや地域企業の生産性向上に資するデジタル技術・業務改善などに向けたノウハウの提供
 - ・地方自治体や地域企業への専門人材の派遣（デジタル化やマーケティングなど）
 - ・地方自治体などが主催する講演会などでの専門人材による講演
 - ・自治体職員の出向の受け入れを通じた民間ノウハウの教育
- ③ **地域企業の経営人材の育成支援**
 - ・地域企業の経営幹部や後継者を対象にした講演会やセミナーでの本会会員による講演
- ④ **地域のスタートアップ企業と都市部企業とのネットワーク構築**
 - ・本会会員や所属企業の専門人材による地方の起業家の育成支援
 - ・地域のスタートアップ企業と本会会員の意見交換会、マッチングイベントへの参画
- ⑤ **企業版ふるさと納税などを活用した地方自治体と企業のパートナーシップ構築**
 - ・企業版ふるさと納税に関する自治体プロジェクト・好事例の会員企業への説明会
 - ・「企業版ふるさと納税・ヒト版」(仮称)の活用に向けた調査・研究
- ⑥ **魅力あるまちづくり支援**
 - ・地方自治体と都市部企業の女性社員や若手社員の意見交換会
 - ・地域の将来像などに関する検討会やワークショップへの参画
 - ・未来技術(ドローン、自動運転など)の実証・実装実験への参画
- ⑦ **地域の魅力に関する情報発信や強みを活かしたプロジェクトの立ち上げ**
 - ・本会HP(地方創生プラットフォーム)などを活用した地方創生の好事例の情報発信
 - ・地域の強みを活かした協働プロジェクトの立ち上げ

地方自治体へ期待すること

1. **熱意ある首長のリーダーシップ**
地方創生の取り組みの進捗を大きく左右するのは、明確なビジョンを掲げて地域経営に取り組む首長のリーダーシップであり、首長自らの積極的な参画を期待する。
2. **協働プロジェクトへの人材と予算の適正配分**
国の地方創生関係交付金へ過度に依存せず、地方版総合戦略の重点化や絞り込みで歳出削減を行い、協働プロジェクトへ予算や人材を適正に配分することを期待する。
3. **地域住民や周辺自治体との連携**
地方自治体・首長と地域住民が信頼関係を築き、一緒に地方創生へ取り組むことを期待する。また、基礎自治体単体では事業の規模が限定されることから、地域間連携をさらに推進していただきたい。

詳しくはコチラ

